

白鳥飛来地情報の取りまとめについて —アンケートの取りまとめについて—

神谷 要

日本白鳥の会米子事務局, 683-0855 米子市彦名新田665米子水鳥公園

日本におけるハクチョウ類の飛来地・飛来数については、環境省が毎年行う、ガンカモ類の一斉調査(環境省 2001)によって鳥獣保護区に指定された地域の飛来数は知ることができる。これによると日本に飛来するハクチョウ類は、オオハクチョウ 27,056羽、コハクチョウ 24,749羽(アメリカコハクチョウ含む)、コブハクチョウ 149羽となっている。ハクチョウの飛来地としては、全国で435ヶ所が挙げられており、日本におけるハクチョウ類の生息情報としては一番詳しいものであろう。

しかし、この調査は年に1回の成人の日(1月中旬)の前後に行われるだけで、渡りの中継地の状況や、鳥獣保護区以外の飛来数はわからない。また、アルバーセン・金沢(2001)によれば、日本におけるハクチョウ類の飛来地は、約300ヶ所のうち六割で給餌が行われているとされている。しかし、広範囲な、全国的な給餌や生息状況をまとめたものは存在しない。

そこで今回、日本白鳥の会では、ハクチョウの飛来地の情報を全国的なとりまとめをおこなうことを目的に、飛来地の目録製作準備のためのアンケート調査を行った。

アンケートの送付は、日本白鳥の会のニューレターとともに2001年4月に、日本白鳥の会全会員へ送付した(図1)。本報では、回答のあった地域のリストを紹介し、緯度経度(添付していただいた地図から推定)、環境、面積(ha)、各種最大個体数(2001年-1997年の過去5年、または、記載がない場合は記載があった年の平均個体数)、給餌の有無、センターの有無などを示す。

記載は、基本的に回答をそのまま掲載したが、スペースの都合で省略したものもあった。また、同一の飛来地に関して回答をいただいたものも両方掲載した。

この調査によって、Brazil(1983)がのべたようにオオハクチョウがコハクチョウに比べ日本の北部で越冬していること、また、オオハクチョウは比較的小型の河川やため池などに群れとなって飛来するが、コハクチョウは大きな集団を作って比較的大きな湖沼で越冬している様子が類推された。白鳥の飛来環境については、湖沼・

河川・水田などが主な生息地となっているが、水域の淡水・汽水・海水また、天然・人工かかわらず生息している。また、今回のアンケートでは、約半数の生息地で、定期・不定期にかかわらず給餌をされていたが、半数では給餌を行っていない。

コブハクチョウは、全国各飛来地で、飛来・生息がある地域が多く、各地で野生化したコブハクチョウが生息地を広げていることが想像される。ウトナイ湖で繁殖するコブハクチョウは、すでに渡りの習性があることがわかっており(山階鳥類研究所 1997)、冬季に飛来するコブハクチョウも野生のものであるとは限らない。

また、今後、各地で幼鳥の飛来数をカウントできれば、日本に飛来するハクチョウ個体群の現状と将来も推測できるようになると考えられる(神谷 2002)。

謝辞：新潟の本間隆平さま、青森の阿部誠一さまには、特別に各県のデーターの取りまとめにご尽力いただきました。

また、今回のアンケートでは、事務局がアンケート制作業務に不慣れであったために「回答しづらい、内容がわかりにくい」いなどのお叱りを受けました。しかし、このような不備な点があったアンケートにもかかわらず、多くの会員の方に時間とお手間をかけていただき、ご返事をいただいたことに心より感謝をあらわし、お礼の言葉と変えさせていただきます。

引用文献

- アルバートセン, J. O.・金沢裕二, 2001. 東アジアのハクチョウ個体群の増加と日本におけるハクチョウの越冬生態. 日本の白鳥 25 : 47-48.
- Brazil, M., 1983. The breeding success and distribution of *Cygnus cygnus* wintering in Japan. Strix 2: 95-103.
- 神谷要, 2002. 幼鳥の数を数えよう、日本の白鳥 26 : 59-60.
- 環境省, 2001. 第31回ガンカモ科鳥類生息調査報告書. 環境省, 東京.
- 山階鳥類研究所, 1997. コブハクチョウの渡りコースについて. 鳥類標識調査報告書平成9年度, 130-132.

表(次ページ)の説明

生息状況については、①ねぐら(湖・沼・河原・湿地など)、②餌場(水田・牧草地・人工給餌地・湖沼など)、③渡りの中継地、④越冬地

環境については、A 河川、B 湖沼、C ため池、D 海岸、E 湿地、F 淡水域、G 汽水域、H 海水、I 人工湖沼、J 天然湖沼、K 水路、L 水田、M 畑、N 牧草地 を示す。

日本白鳥の会

質問 I 飛来地の名称をお答えください。

質問 II ハクチョウの生息状況として当てはまるものに丸をつけてください。

- ①ねぐら(湖・沼・河原・湿地等)
- ②餌場 (水田・牧草地・人工給餌地・湖沼等)
- ③渡りの中継地
- ④越冬地

質問 III 質問 II で①ねぐらと答えた場合は、ハクチョウの餌場の地名を、②餌場と答えた場合は、餌場の場所の地名をお答えください。

①餌場 _____ ②、ねぐら _____

質問 IV ハクチョウの飛来地の環境について当てはまるものに丸を付けて下さい。

A, 河川 B、湖沼 C、ため池 D、海岸 E,湿地 F、淡水 G、汽水 H,海水
I,人工湖沼 J,天然湖沼 K,水路 L,水田 M,畑 N,牧草地 O,その他()

質問 V 飛来地の大きさを記入して下さい。

ha / km²

質問 VI 飛来地の緯度経度、環境省コードが分かればご記入下さい。

北緯 _____ 東経 _____

環境省コード _____ 山階鳥類研究所コード _____

質問 VII ハクチョウ類の最近五年間の個体数(最大)を教えて下さい。

オオハクチョウ	コハクチョウ	コブハクチョウ	その他
---------	--------	---------	-----

1997 _____

1998 _____

1999 _____

2000 _____

2001 _____

質問 VIII その他特徴的な飛来鳥類種がいればご紹介下さい。(ガン・ツル類など)

質問 IX 生息地に関する出版物があればご紹介下さい。(パンフレットを同封していただいてもかまいません。)

質問 X 納餌の有無について教えて下さい。

有(日平均納餌料 kg/日)・無

質問 XI 飛来地としてアピールしたいことが有ればお書き下さい。(自由記載)

質問 XII 飛来地について問い合わせ可能な団体をお書き下さい。

住所 〒

都道府県 _____ 市町村 _____

TEL

FAX

センターの有無: 有 無

センターの開館時間: ~ 開館期間: 通年/冬季のみ(~)

E-mail _____ ホームページアドレス _____

質問 XIII 簡単な飛来地の地図を記入・添付して下さい。

記入者氏名 _____

アンケートの返送・問い合わせ:

米子事務局で担当いたします。複数の飛来地についてご紹介の場合は、コピーしてから送付してください。

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665 米子水鳥公園

TEL 0859-24-6139 FAX 0859-24-6140 担当 神谷